

2年次の指導要綱および年間計画

副主任 麻生 由子 担任 神波 るみ 平義 希

- 【2年次の目的】
1. 看護学生として2年次に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。
 2. 学生生活を通して、対人関係及び交友関係を深め、より豊かな人間性を養う。

- 【2年次の目標】
1. 日常生活援助技術を積極的に身につけることができる。
 2. 基礎分野・専門基礎分野・専門分野を関連づけた学習ができる。
 3. 対人関係・協力関係が円滑にとれ、看護への思いを明確に持つことができる。

月	日	学校行事・学年行事	内容	指導内容
4	6	始業式 身体計測 HR	目的・目標・計画・主な取り組み クラス目標の立案 健康診断 国家試験対策について	1年間の学校生活をイメージし、クラス・個人のありたい姿の明確にする。 健康管理のあり方や自己の基本的な生活習慣の見直しと調整の仕方を考える。
			役員引き継ぎ	
	9	入学式		
	24	胸部 X-P・自治総会		自治会組織の一員として、活動に参加する。
5	7	新入生歓迎会		自治会組織の一員として、活動に参加する。
	9	(土) バイク講習会	交通安全教室への参加	安全な運転技術の再確認する。
6	27	(土) オープンスクール		参加者への学校紹介を通して、看護学校入学前の気持ちを思い出してみる。
7	5	(日) エイズ講演会	性感染症の予防対策	自分や大切な人を守るための性感染症の予防策を学ぶ。
	22	終業 夏季休業 (~8/21 迄)	夏季休業課題	自己の課題を明確にし、長期休業を活用した学習を行う。
8	24	始業	課題提出	学習方法の再検討をする。
	25	公開授業		
	26			
9	19	(土) 日赤講習	希望者のみ 救急法を学ぶ	病気やけが、災害から自分自身を守り、有事発生時の適切な行動について考える。
10	6	防災訓練	安全な非難方法について	病気やけが、災害から自分自身を守り、有事発生時の適切な行動について考える。
	15	学校祭 準備開始	学校祭実行委員の指示の下、係に分かれて活動	自治会（学校祭）組織の一員として、活動に参加する。 学習の成果を発表する機会を作り、学習の動機づけを行う。
	16			
	17	学校祭		
(土) 20	宣誓式練習①	宣誓式の流れに沿った練習	看護師を目指すこれからの自分の誓いを言葉に表し、行動の	

	26	宣誓式練習②		あり方を明確にできるよう意識付けを行う。
11	2	宣誓式練習③	宣誓式の流れに沿った練習 個人面接 (9月下旬～10月初旬) ビジョンボード活用	
	4	宣誓式練習④		
	5 6	宣誓式 祝賀会		
12	25	自治会総会、HR 終業 冬季休業(～1/4迄)	休業課題 学内演習について 実習に向けた事前学習 等	実習に向けて、学習準備を行う。
1	5	始業		
2	1～ 5	病院環境と生活を理解 する実習 学内演習		実習に向けて、学習準備を行う。
	8～ 19	病院環境と生活を理解 する実習		目標達成ができるようにする。
	25	歓送会		
3	4	卒業式		
	15	芸術鑑賞	未定	科目外活動を通して感性を磨く。
	16 17	HR HR	面談・科目試験に向けた学習等 マイナビ就職ガイダンス 模擬試験(業者模試)	就職活動の流れを知り計画して いくことができる機会とする。 解剖生理、病理学を中心に学習 力の確認を行う。
	18	HR 終業式 春季休業	模擬試験自己採点 休業課題	

【 4 4 期生 2 年次の取り組み】

目標	細目標	取り組み
<p>目標 1. 日常生活援助技術を積極的に身につけることができる。</p>	<p>1-1: 自信を持って、基礎看護学実習に臨むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☛ 1 年次習得していない技術の習得 対象：すべてが A 評価になっていない 期間：7 月 22 日まで ☛ ベッドメイキング、バイタルサインをマスターする。 一年生に技術のコツを伝える時間を作る。 ☛ 一つ自信を持って実習に臨める技術を身につける。
<p>目標 2. 基礎分野・専門基礎分野・専門分野を関連づけた学習ができる。</p>	<p>1-1：履修科目の平均点が 7 5 点以上となる。 1-2：2 年次までに修得すべき科目をすべての学生が修得できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☛ 講義日の放課後、復習会を行う。 (講義内容の再確認や模擬試験国家試験問題などを活用して、内容理解に努める。) ⇨ 再試験対象者が多い科目を選出 ☛ 1 回/2 週間程度
<p>目標 3. 対人関係・協力関係が円滑にとれ、看護への思いを明確に持つことができる。</p>	<p>1-1: 協力関係が見える中で、職業に対する意識を維持できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 成果を学生や第三者に伝える。 ☛ 行事・学習活動など 展示やクラス通信・定期面接 * 個別対応を行う。 ☛ 適時 * 学習環境の美化に努める。 ☛ 掃除戸締り・公私の区別をつける